

児童養護施設職員からの意見聴取結果（主な意見）

施設で養育する利点

- 施設で養育することについて、効果的・利点と思うことはなんですか。
- ・衣食住が確保され、安心・安全な環境で生活できる。
- ・集団生活の中で、他の子どもを見て学ぶことができる。
- ・多職種の大人の目で見守ることができる。
- ・子どもの状態によっては、職員が交替して対応することができるので、お互いの精神的負担を軽減できる。

施設で養育する課題

- 施設で養育することについて、課題と覚えることは何ですか。
- ・1対1の対応をすることが困難。
- ・決まったスケジュールで生活していくので、そのリズムに合わせられない子も出てきてしまう。
- ・学校の延長のようになってしまい、柔軟な生活を送ることが難しい。
- ・職員の力量によって変わってしまうところがあるので、職員のスキルアップが必要。
- ・卒園して初めて「家庭」を知り、ギャップに戸惑う子もいる。

施設内ユニットや小規模ホーム等などの家庭的な環境で養育するこ

との利点・課題

- 施設内のユニットや小規模ホームなどの家庭的な環境で養育することについて、効果的・利点となりうることは何ですか。
- また、課題となりうることは何ですか。

- ・ある程度の生活基盤が整っていれば、小規模のほうが伸び伸び生活できる。
- ・調理済みで配膳される施設の食事と違い、料理をする姿を見せたり子どもも一緒に参加したりするなど、家庭に近い体験ができる。
- ・愛着関係を築きやすい。
- ・子どもと職員の相性が合わないと、逃げ場がないのでお互い距離を置けず、苦しい環境になる。
- ・1ユニットのバランスを取れる子でないと、他の子どもに影響が出る。
- ・子どもの特性によって、小規模であることに合う・合わないがある。小規模の器に収まらない状態の子は、施設で大勢が見守ったほうが良い。
- ・年齢層の近い子のユニットにし、年齢・月齢に適した安全を担保できる環境にすることが必要。

施設における人材確保や人材育成について

- 施設において、職員の人材を確保するためのアイデア、職員の人材育成についての要望やアイデアがあれば教えてください。
- ・児童養護施設に対する社会的な認知度が低いので、SNSなどで周知をし認知度を上げていく。
- ・児童養護施設に対するイメージがマイナスなので、オープンな施設を目指し、理解を深めてもらう。
- ・就職活動中の学生に向けて、幼稚園フェアに参加させてもらうなど、児童養護施設も就職先の選択肢となるようアピールしていく。
- ・専門学校と繋がりを持っておくと学生を紹介してもらえるので、学校廻りをしていく。
- ・保育士の資格があれば働くことができるので、責任感とともにやりがいのある仕事であることをもっと理解してもらう。
- ・福利厚生を充実させる。(資格手当、当直勤務に対する手当、養育以外の事務作業に必要な時間外手当、住宅手当や通勤手当など)
- ・他施設との交流や研修会への参加を増やし、職員のモチベーションを上げる。
- ・困った時の対処法や失敗談、ストレス発散法など、ベテラン職員の話聞ける機会を設ける。

児童が進路を考える際に必要な支援

- 児童が進路を考える際の支援として、何が課題となっていて、どのような支援が必要だと思いますか。
- ・資金面の支援が必要。奨学金をもらうにしても、返済義務も生じるため、条件を満たせる子でないと勧めることができない。
- ・卒園後の生活は何もかもひとりでやっていかなければいけない環境で、かなり厳しい状態になってから SOS が来る子もいる。
- ・卒園生の進路を参考にする子が多いが、子どもの世界が狭いので、道標となるような選択肢を広げるための情報提供や、自分で考えられるような支援が必要。
- ・大人がきちんと調べたうえで、本人にもきちんと情報開示し、本人が納得して選択できるようにしている。
- ・子ども自身の希望と、大人から見た本人の特性から考える進路が異なる場合、できるだけ希望を尊重してあげたいが、困難と思われるときには葛藤がある。
- ・友人同士でオープンキャンパスに行きたがらない子もいるが、職員が連れていくのは難しいので、児相のケースワーカーが同行してもらえると、子どもも進学イメージが掴みやすいと思う。

施設の多機能化を踏まえた、児童家庭支援センターの委託の検討

- 地域の家庭の子育てやこどもに関する相談に応じる、児童家庭支援センター（子育て相談やショートステイ等を実施）を、児童養護施設や乳児院に併設し施設の多機能化を図ることに対し、現時点で何が課題で、何が必要だと思いますか。
- ・改まっている場所だと相談しづらい雰囲気があるので、茶話会など気軽に相談に来られる環境があると良い。
- ・入所している子どもにとっては、生活の場＝家である場所なので、不特定多数の外部の人が訪問するとなると、落ち着かない子も出てくるため、配慮が必要。
- ・開かれた施設にするためには第三者の目も必要だと思うが、入所中の子どもの環境や来訪者の利便性を考えると、施設とは別に、市街地に拠点を設ける方法もある。

その他

- 知的に低い子どもへの個別ケアが必要だと感じているが、職員が不足しているので支援が行きわたらない。
- 支援級の子どもが増えてきて、子どもへの関わり方が高度になってきたと感じている。子どもへの理解が必要になるので、職員同士の認識の摺合せが大切になる。
- ベビーホームと養護施設の間で、職員同士の交流があまりないので、日頃からもっと交流できると、子どもが移る時も安心できると思う。
- 市内に FH が 3 つしかないので、小規模な施設ができると、他の法人も参入しやすくなるのではないか。
- 青少年の家なども減って、子どもが遊べる場所がない。小学生は夕方が学習の時間になっているので、学校から帰ってきても遊びに出る時間がなく遊びに行けない。周囲に友達を作れるところもなく、施設に友達を呼べない。